

本校の結果と分析

札幌市立東白石中学校

去る4月、今年度の「全国学力・学習状況調査」が、全国の小学校6年生と中学校3年生全員を対象に行われました。この調査の目的は、「全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、これまでの教育の成果を検証し、課題となることを見いだしていくこと」にあります。各学校としては、全国ならびに自治体(北海道・札幌市)の結果と合わせて、学校としての成果と課題を見つめ、今後の教育活動の充実や改善に役立てていくことに活用されます。すでに報道されましたように、今年の全国の調査結果、続いて札幌市の調査結果の概要が発表になりました。3年生の生徒本人及び保護者の皆様には、個人の調査結果票を返却済みですが、本校全体としての結果と今後へ向けての課題や取組の方向性について、全学年の保護者の皆様にお知らせいたします。

1 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等

本校の平均値を全国平均正答率と比較して、以下の通りに表記しています。

- ・「上回っている」…………… +3.1 ポイント以上
- ・「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」…… +3.0 ポイント以内
- ・「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」…… -3.0 ポイント以内
- ・「下回っている」…………… -3.1 ポイント以下

【国語】		
本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」</p> <p><input type="checkbox"/> 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」</p> <p><input type="checkbox"/> 全国平均を上回っている。</p> <p>「書くこと」</p> <p><input type="checkbox"/> 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「読むこと」</p> <p><input type="checkbox"/> 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<p>● 事象や行為を表す語彙について理解すること。</p> <p>● 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>● 読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。</p> <p>● 表現の効果について、根拠を明確にして考えること。</p>	<p>○ 使用頻度の高い言葉、新しく出会った言葉について調べたり、その語句を話や文章の中で使ったりする活動の充実。</p> <p>○ 聞き手の反応を踏まえて、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する活動の充実。</p> <p>○ 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動の充実。</p> <p>○ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動の充実。</p> <p>○ 表現の効果について、自分の考えを支える根拠を挙げながら書いたり発表したりする活動の充実。</p>

【数学】		
本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>「数と式」</p> <p>□全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「図形」</p> <p>□全国平均を上回っている。</p> <p>「関数」</p> <p>□全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「データの活用」</p> <p>□全国平均を下回っている。</p>	<p>●数量を文字を用いた式で表すこと。</p> <p>●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。</p> <p>●事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。</p> <p>●相対度数の意味を理解すること。</p>	<p>○基礎・基本的な計算法則を理解し、定着するまで反復する活動の充実。</p> <p>○図形の性質を考察する場面において、ある事柄が成り立つことを数学的な表現を用いて説明するとともに、解決過程を振り返り、得られた結果を意味づけたり活用したりする活動の充実。</p> <p>○グラフから必要な情報を読み取る活動の充実。</p> <p>○「データの活用」領域における、基礎基本を定着させる活動の充実。</p>

【理科】	
課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>「エネルギー」を柱とする領域</p> <p>●電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能を活用すること。</p> <p>「粒子」を柱とする領域</p> <p>●科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現すること。</p> <p>「生命」を柱とする領域</p> <p>●スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現すること。</p> <p>「地球」を柱とする領域</p> <p>●露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈すること。</p>	<p>○「エネルギー」領域における、電気回路などの基礎・基本的な知識を元に仮説を立て、実験を行い、結果を理科的に分析する活動の充実。</p> <p>○身のまわりの事象から生じた疑問や見出した問題を実験で解決する活動の充実。</p> <p>○観察・実験の目的や、その方法や結果についての見通しを明確にするとともに、各単元や各領域での知識及び技能をそれぞれ関連付けて多面的、総合的に探究する活動の充実。</p> <p>○「地球」領域における、基礎・基本的な知識を理解し、用語の意味を理解するための活動の充実。</p>

② 生活習慣や学習環境(生徒質問紙)の調査結果から *生徒が自分に最も当てはまるものを選択する形式で回答。

【肯定的な考えを示す回答の割合が多かった設問】

- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。
- ・インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができる。
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。
- ・友達関係に満足している。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
- ・学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・学校に行くのは楽しい。
- ・自分には、よいところがあると思う。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。

【否定的な考えを示す回答の割合が多かった設問】

- ・授業で、PC・タブレット等のICT機器を使用している。
- ・学校の授業時間以外でPC・タブレット等のICT機器を、学習目的で使用している。
- ・学校が休みの日に、学習に取り組んでいる(学習塾、家庭教師、インターネット活用等も含む)。
- ・平日、学校の授業時間以外で学習に取り組んでいる(学習塾、家庭教師、インターネット活用等も含む)。
- ・平日、学校以外で読書をしている(電子書籍も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。
- ・家にはいろいろな本がある(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)。
- ・新聞を読んでいる。

全体的な傾向や今後の改善の方向

- 主体的に課題解決に向けて取り組むことができるか、などといった「学びの質」の改善が必要です。仲間と意見を交わしながら、協働して課題を解決していく学びが重視されています。今後も、ICT や書籍等の活用を含めた授業改善を進めていきます。
- 学習習慣が定着し、計画的に取り組むことができる生徒はまだ少ないと言えます。家庭学習を習慣化するためにも、「睡眠」「朝食」「ゲームやスマートフォン」などの生活習慣を整えていく必要があります。
- 「社会のために役に立ちたい」という回答がとても多かったです。引き続き、学校教育目標「すすんで、よりよい社会をつくる人になる」を目指していきます。
- 引き続き、道徳の授業などを通して、自分と他の人・集団との関わりを学びつつ、自分の長所を見つめ直していくことを目指していきます。

以上、今年度の「全国学力・学習状況調査」の方向と調査結果の概要について、お知らせいたしました。この結果を踏まえ、今後も、多様な考えを認め、高め合う姿勢を育て、自己有用感を高めること、また、いつでも気軽に相談できる環境下で学校生活を送れるようにすることなど、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後も保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら生徒一人一人の学力や生活意識の向上に取り組んでまいります。引き続き、生活、学習への支援を御家庭でも御協力をお願いします。

さっぽろっ子「学び」のスモ『まほうのかいわ』 「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを支援する合言葉

ま：学んだことを一緒に振り返る

ほう：方法を一緒に考える

の：伸びを認め、ほめる

かい：改善に向けて生活を一緒に振り返る

わ：わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ます